

ULTRASTYLE

Vol.

33

第12回JFL前期第2節

Design by ULTRAS MATSUMOTO

10.03.21

MATSUMOTO YAMAGA F.C.

VS ソニー仙台FC

JFLへの挑戦！松本の全てをぶっつけろ！！

「ピッカピカの一年生」

2010シーズン、明けましておめでとうございます！

例年より少しだけ短いオフシーズンを経て、遂に松本にもサッカーの季節がやって参りました！そして、今年の舞台はJFLです。ようやく念願の全国リーグにて、開幕を迎える事となりました。

山雅がこの地に誕生してからの40年以上もの時を経て、ようやく「地域」から脱出して辿り着いたこの舞台。僕らサポーターも、初めてのことばかりです。戸惑ったり、迷ったりすることもあるかもしれません。

しかし、戦う場所やサポーター歴など関係無く、皆で松本山雅の看板を背負い、初の「全国」に挑戦していきたいと思っています！

ホーム開幕戦ではサポーターによる作戦を用意していますが、その作戦も、スタジアムにきた皆が参加できるものを企画しました。

メインもバックもゴール裏も、全てのスタンドから選手に力を与え、共に戦っていくんだ、ということをご確認するためです。

今年もクラブのスローガンである「One Soul」を合言葉に、団結して進んでいきたいと思えますので、皆さんのご協力をお願いします！

さて、今日の対戦相手はソニー仙台。

企業チームということもあり、あまり印象を抱きにくいかもしれませんが、実は昨年のJFL後期では1位。更に年間最少失点も記録しており、いま日本のアマチュアサッカー界では最も強いクラブと言っても過言ではありません。

試合では、今まで以上に難しい状況に追い込んでくる可能性もあるでしょう。

しかし、だからと言ってそう簡単にやられる訳には行きません。

それが例えどんなに強い相手でも、僕らのホーム・アルウィンに迎えるからには、そう易々と勝利は譲れない。

アマチュア最高峰のソニー仙台をホームに迎えて戦うこの一戦は、まさに今の山雅にとって試金石と言えるでしょう。

この試練を突破するためには、サポーターも全力で選手たちを支えなければなりません。先週の開幕戦では同じく優勝候補のガイナレ鳥取に苦杯を喫しましたが、僕らの目指すものは、こういう壁を乗り越えた先にあります。

クラブ、選手、サポーターを含めて、今の僕らの力でどこまで行けるか。

全国への挑戦が、これから始まります。

僕らも全てをぶっつけましょう！その先の勝利の為に！！

【written by ようへい】

数えるほどの人数で始まったゴール裏での僕たちの応援。戦いを重ねる毎に仲間も増え、昨年12月にアルウィンで行われた地域決勝大会決勝ラウンドでは本当にたくさんの仲間とJFL昇格の喜びを共にする事が出来ました。でも僕たちはずっと願っています。「この街に、このアルウィンにこれから幾度となく訪れるであろう歓喜をもっともっとたくさんの仲間と共にしたい」と。

だから今年もやります！「ゴール裏歓迎キャンペーン」。

今年僕たちが戦うJFL。そこではチームもサポーターもみんな一年生です。そう、ランドセルを背負いドキドキ、ワクワクしながらキラキラした春を迎えた「ピッカピカの一年生」と同じです。初めての対戦チーム、絶対に勝たなきゃいけない志同じライバル達、厳しいアウェイの洗礼、何もかもが初めての体験になるのです。サポーターが何年なんて関係ありません。みんなが同じスタート、JFL一年生松本山雅サポーターです。

ゴール裏には行ったことがないから・・・関係ありません。

メインスタンドやバックスタンドからの転校生も大歓迎です。

自分の愛するチームをサポートする心があれば誰もが共に闘える場所なのです。

みなさん、あの時の春と同じ新鮮で初々しい気持ちを思い出してみませんか。真新しいユニやTシャツに袖を通し、タオルを巻いて、夢と希望そしてこの街の誇りを背負って、僕たちとゴール裏で一緒に応援しませんか？

そこには、熱い闘いとこの街への愛、そして素敵な仲間たちとの出会いが待っています。

そう、いつかの春と同じ少しの勇気と少しの覚悟を持って。

Why don't you join us?

【written by ナオキ】

Research!

※ 試合運営放送班 連動企画 powered by かーかみ&ハローCZO

対戦相手と山雅選手との関係に注目！

①麻生耕平選手と今田傑選手

どちらも筑波大で大島翼選手の一学年下、MF。06年度に関しては、元山雅選手の佐々木惇、信藤健太ともチームメイト、同時出場までは確認できませんでしたが、5人全員がトップチームに所属。

②町田多聞選手

熊本で小林陽介選手とチームメイトでFW。08年オフとともに戦力外になったのち、町田はJFLの企業チームへ、小林はJ志向の地域リーグへ。年齢は町田が1歳上で、同じポジション。また、04はホリコシに所属。元山雅選手の三本菅、奈良、神田とともに天皇杯で当時J1のレイソルを破っています。

③谷池洋平選手

徳島で石田選手(05後半~06)、栃木で山崎、原、両選手とチームメイト。CBなので山崎とはコンビ、対戦では石田と直接マッチアップすることになります。

④山内達夫選手

駒沢大で阿部選手、竹内選手の一年下のGK。全国優勝したインカレでは怪我の三栗選手に代わってレギュラーでしたが、決勝戦だけは4年生だった三栗にスタメンを譲っています(三栗は決勝1試合でベストGKを受賞)。なおその決勝では阿部がスタメン、竹内は途中出場して2得点。ただ、ソニーでは出場が微妙です。また丸岡高一駒沢大は鈴木亮平選手の2年下です。

⑤沢口泉選手

浦和レッズユースで高沢選手の2年下(小林陽介の3年下)。FW。

⑥斎藤雅也選手

08栃木で山崎とチームメイト。サイドバック。

⑦天羽良輔選手

06~07徳島で石田とチームメイト。DFだがサイドバックのため、石田とは直接マッチアップにはならないか。